

福島県民の日～福島県ができた日～



8月21日は、「福島県民の日」です！

明治9年（1876年）8月21日に、「旧福島県」^{いわさき}「磐前県」^{わかまつ}「若松県」^{すがた たんじょう}の3県が合わり、ほぼ現在の福島県の姿が誕生しました。

「福島県民の日」として定められたのは、平成9年（1997年）7月11日で、「ふるさと『福島』をより知って、大切にしようとする心を持ち、心を合わせてより良い福島をつくっていきましょう」という思いが込められています。

あいづちほう 【会津地方】

いなわしろこ ばんだいさん おおうちじゅうく
猪苗代湖や磐梯山などの広大な自然と、大内宿
つるがじょう
や鶴ヶ城などのさまざまな歴史に触れることが
できる地域です。



いなわしろこ ばんだいさん
猪苗代湖と磐梯山



おおうちじゅうく
大内宿

なかどお 【中通り】

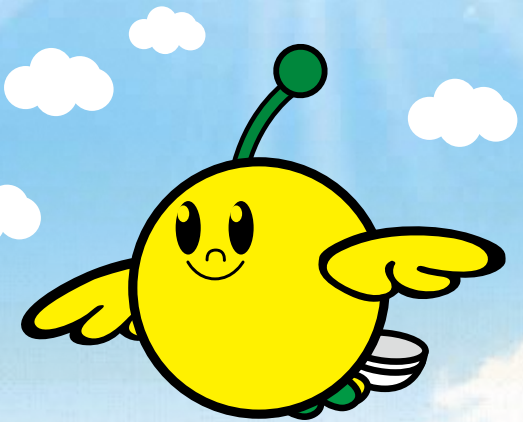
とうほくしんかんせん
東北新幹線が通り、花見山などの花の名所、
温泉などたくさん見どころがあります。



はなみやま
花見山



なんこうえん
南湖公園



キビタン © 福島県



福島県、実は…

北海道・岩手県に続いて、全国で
3番目の広さです。

はまどお 【浜通り】

年中温暖な気候で、さまざまな体験ができる
水族館やロボットなどの新しい産業の実証・
かいほう
開発を行っている施設などがあります。



アクアマリンふくしま

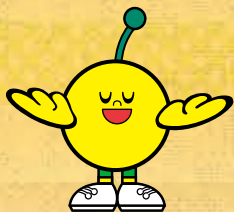


福島ロボットテストフィールド

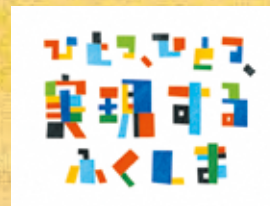
県民の日についての
さらに詳しい情報はこちらから。
県民の日を記念した施設の
割引情報などもあります！



福島県文化スポーツ局文化振興課



福島県の自慢



新スローガン 「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

「はじめよう」から、「実現する」へ。
東日本大震災から10年を機に福島県では、新しいスローガンを発表しました。
復興に向けて歩んできた「これまで」と、未来に向けた「これから」、そして県民の皆さんの「今」を重ねたメッセージで、様々な人々が集まってつくる「実現」を、たくさんの色と形でデザインしています。

人物・偉人

○野口英世・細菌学者 (出身：猪苗代町)

野口博士は、幼少期にやけどで左手の自由を失いましたが、黄熱病などの研究で世界に貢献し、ノーベル賞の候補に3回なりました。令和6年7月3日に絵柄が変わるまで千円札の肖像画になっていました。



(公財) 野口英世記念会提供

○古関裕而・作曲家 (出身：福島市)

古関裕而は、昭和時代の作曲家で、生涯で5000曲もの作品を作っています。昭和39年の東京オリンピックの選手入場行進曲「オリンピック・マーチ」や今も高校野球の放送で流れる「栄冠は君に輝く」をはじめ、全国各学校の校歌などがあります。令和5年1月に野球殿堂入りしました。



歴史・文化

○鶴ヶ城 (会津若松市)

会津若松市のシンボルである鶴ヶ城は幕末の戊辰戦争で新政府軍の猛攻に耐え、「難攻不落の名城」と称えられました。春は桜の名所として、秋は紅葉とライトアップされた景色が有名です。



○相馬野馬追 (南相馬市)

千年以上の歴史がある相馬地方の伝統行事として、国の重要無形民俗文化財に指定されています。代々先祖から受け継いだ鎧を身につけ、約400騎の騎馬武者が駆け抜けます。暑さを避けるため、令和6年から開催時期が5月に変わりました。



相馬野馬追執行委員会提供

食べ物

○もも収穫量 (令和6年)

福島県はももの産地で、全国2位の収穫量をほこります。福島県はももだけでなく、さくらんぼ、なし、ぶどう、りんごなどいろいろな果物の生産がさかんで、「果物王国」とよばれます。



○夏秋きゅうり収穫量 (令和6年)

パリッとした食感の夏秋きゅうりの収穫量は福島県が日本一です。これは、夏から秋にかけての県内の気温が、きゅうりの成長に適しているためです。岩瀬・伊達地方を中心に福島県全域で生産されています。

